



無会派 雪 正文

活力あるまちづくりに向けて

「自立的な稼ぎを生み出していく」ための観光の振興の考え方は

質問 観光の振興について伺う前に、市長は阿賀野市の社会を取り巻く背景をどう捉えているのか伺う。

答弁 急速な少子高齢化や人口流出などにより、地域経済の縮小が懸念されており、厳しい状況である。

懸念されており、厳しい状況である。

質問 問題が山積している当市にあって今後の自治体経営としては、今まで以上に支出（経費）を抑えるとともに、収入を増やしていくこと、特に「自立的な稼ぎを生み出していくこと」が強く求められてくる。なお、支出抑制に際しては、市民サービスレベルや生活の安全・安心を維持しながらも、いかにうまく支出構造を改善していくかが重要となってくる。

こうした中、地域活性化の切り札の一つとして「観光」がある。

観光は、来訪者が地域へ来て落とす力ネとしての直接的経済効果に加えて、関連産業への波及効果が期待できる。結果として、税収効果、雇用誘発効果、雇用者所得誘発効果などが発生する。

さらには、多くの来訪者が地域を訪れ評価してくれることで地元住民の心の中で誇りが生まれ、結果として地域や住民も輝いてくるのではなか。そこで「自立的な稼ぎを生み出していく」ための観光の振興について伺う。

北陸新幹線開業後は、新潟地域への旅行者が減るとの予想であり、厳しい状況だが、阿賀野市が有する資源である五頭連峰などの自然、瓢湖、五頭温泉郷、水原代官所等さまざまな観光資源を動線で結び、また近隣都市と連携を進め、北陸新幹線開業後の関西方面からの旅行者の誘致に取り組んでいかなければならないと考える。

果として地域や住民も輝いてくるのではなか。そこで「自立的な稼ぎを生み出していく」ための観光の振興について伺う。



奨学金制度について

質問 市の奨学金制度は、大学、短大、高等専門学校、専門学校が月額4万円、高等学校が1万5000円が貸与されて教育支援がなされているが、奨学金の募集時期の見直し、入学一時金の貸付制度の創設等について、保護者の労働環境も考慮するなど使いやすい奨学金制度への見直しが必要と感ずるが見解は。

答弁 経済情勢も含めて、実情にあった見直しを考えており、「募集時期」については、例年3月15日発行の広報で周知後に募集開始であったが、「募集時期」を早めたい。「入学準備金（入学一時金）」制度についても、制度の創設を考えており、「平成26年度からの入学生」から利用できるよう考えている。

質問 風しんは妊娠初期の妊婦に感染すると「先天性風しん症候群」と呼ばれる障害が赤ちゃんに発症するリスクが高く、厚生労働省は、風しんの全国的拡大で接種率の低い20歳～40歳代を中心に予防接種を呼びかけている。県内でも5月22日現在で31人が感染し、昨年1年間の4倍に近い罹患数を重視した県は補助制度を創設し県



無会派 遠藤 智子

風しん予防接種事業について

答弁 妊婦への感染防止は重要であり、県の補助制度も活用し、予防接種関係経費511万円を計上。接種を市のホームページ、広報等で対象者に広く呼びかける。

助成対象者は、妊娠を予定又は妊娠を希望する女性と妊婦の夫及び同居する家族とし、年齢制限はなく、助成額は麻しん、風しん混合ワクチン接種に6000円とし、過去2回の接種者は、助成はない。助成期間は25年4月1日からの遡及も含め26年3月31日までとする。

風しんは妊娠初期の妊婦に感染すると「先天性風しん症候群」と呼ばれる障害が赤ちゃんに発症するリスクが高く、厚生労働省は、風しんの全国的拡大で接種率の低い20歳～40歳代を中心に予防接種を呼びかけている。県内でも5月22日現在で31人が感染し、昨年1年間の4倍に近い罹患数を重視した県は補助制度を創設し県



太陽光発電公共施設屋根貸し事業について

質問 水原小学校の校舎、体育館のすばらしい「いらかの波」。江戸時代より約二百年の歴史のある日本最北端の瓦生産地である阿賀野市において、大事な基幹産業の一つであり、このすばらしい景観が見えなくなる。また台風などの強風による飛来落下、雪による落雪事故を大変危惧している。多くの児童、生徒が学ぶ、また

答弁 この事業は、公共施設の屋根等を活用した太陽光発電の普及を図るため、公共施設の屋根を提供し、民間事業者は太陽光パネルの設置、運用を行うとともに固定価格買取制度に基づき売電し、屋根を提供する市に賃料を支払う事業であり、十分検討し実施していく。



無会派 市川 英敏

阿賀野市の観光施策について

質問 阿賀野市観光協会として、1月には東京日本橋プリツジ新潟、2月、5月には表参道・新潟館ネスバスでの阿賀野市大観光物産フェア、中野区花と緑の祭典に参加したが今後の観光戦略にどの様に結びつけていくのか。阿賀野市には五頭温泉郷、ラム

弱者が利用する施設においての太陽光パネルの設置はいかがなものか伺う。

サール条約登録湿地の瓢湖など、多くの観光名所がある。また地元商店街の活性化の方法の一つとして、駐車場の整備が必要であると思うが市長の見解を伺う。



国保会計の赤字解消について

質問 それぞれの事業について答弁があったが、予算の確保は大丈夫か。

答弁 早期に完成出来るように、いろんな機会に国や県に要望をしていきたい。

質問 24年度会計で2億5000万円を、一般会計より赤字補てん繰入を実施したが、まだ、25年度に2億円を超える赤字が繰越されるのは現実であり、解消策を伺う。

答弁 2億3000万円の赤字が繰越される状況にあり、特定健診、がん検診の受診率を上げ、疾病の重症化予防により医療費の5%削減に努める。収入改善の取組としては、保険料の収納率向上に努める。

